

赤ちゃんサロンへ、ようこそ！



神原保育園子育て支援センターの「赤ちゃんサロン」は

■0歳のお子様とその保護者の方

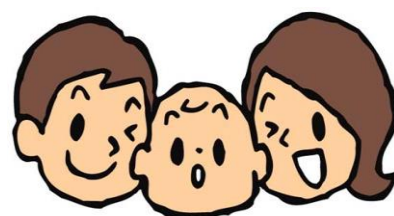
■妊娠22～34週までの妊婦さんとそのパートナーの方

にご参加いただけるサロンです。

かわいい赤ちゃんとの生活をお過ごし
の皆さん。楽しいことも多いけれど、大変な
こともあることと思います。

ママ同士でゆっくり話してみませんか。

パパのご参加也大歓迎です！



マタニティの皆さん。かわいい赤ちゃんに会える日
が待ち遠しいですね。赤ちゃんを迎える準備として、
オムツ替えや着替えのさせ方、抱き方や声のかけ方な
ど、人形を使って練習してみませんか。

お一人でもパートナーの方と一緒に、ご参加い
ただけます。赤ちゃんをまんなかにして、先輩ママや
保育士と、お話しながらゆっくり過ごしましょう。



神原保育園子育て支援センター

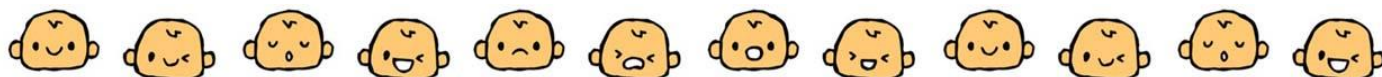
0836—21—6484（要予約）

抱き方のポイント

生まれたての赤ちゃんは首がグラグラ。両手で頭をかるく持ちあげて、利き手の逆の手で頭と首を支え、利き手で体を抱え上げるようにします。股の間を持つようにすると安定します。

抱き上げて大人の体にしっかり密着させてから腕のポジションを調整します。頭と首は利き手と逆の肘の内側に、体は利き手の腕全体で支えるようにします。

赤ちゃん人形を使って、ぜひ一度実際にやってみましょう！



声かけのポイント

オムツ替えや授乳、着替えのタイミングは声掛けのチャンスです。

作業としてさっさと終わらせてしまわず、コミュニケーションをとる時間として声をかけるようにしましょう。

「おしっこがでたね」「きれいにしようね」「気持ちいいね」「お腹すいたね」「おいしいね」など、共感的な声かけをされることによって、お世話をしてくれる人に愛着を感じるようになります。

気持ちよく声をかけてもらった経験が、その後の発声や発語、自己肯定感や人への興味につながっていきます。



オムツ替えのポイント

うんちがでたとき、女の子は前から後ろに拭くようにし、尿道などに便が入らないようにします。男女ともに、小さなひだの間や皮膚が重なった部分は優しく広げて、拭き残しのないように気を付けましょう。拭き残しはオムツかぶれの原因になります。汚れが取れにくい時も、赤ちゃんの皮膚は薄いので、ゴシゴシこすらず、優しく何回かに分けて拭くようにしましょう。

うんちがゆるく、腰や背中の方まで汚れている場合は、足を持ち上げるのではなく赤ちゃんの股関節に負担をかけないように、横向きの姿勢にしてふき取るようにしましょう。



着替えのポイント

着替えの服はそでを通して、重ねて準備しておきます。こうしておくと、一度袖を通すだけで着替えが完了します。

袖に腕を通すときは、服の袖をたくって短くして持ち、赤ちゃんの手を通してから服を引っ張って伸ばします。この時、赤ちゃんの腕を引っ張らないように気を付けましょう。

脱がせるときも、赤ちゃんの腕を大人の手のひらでそっと包むように固定し、服の方を引っ張って脱がすようにします。赤ちゃんの関節はまだ緩く、軽く引っ張られるだけで脱臼する場合があります。気を付けましょう。